

平成18年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム採択事業
「創造性豊かな国際的工科系専門技術者の育成」
現代GPフォーラム
「京都から世界へ」実施レポート

日 時 平成19年1月27日(土) 13:00~16:00
場 所 大学センターホール
基調講演 利休居士第15代前家元 鵬雲斎 千玄室 氏
パネルディスカッション 内丸 幸喜
(東北大学 教授/未来科学技術共同研究センター副センター長)
大角 正幸
(株式会社 大安 代表取締役社長/「京の伝統工芸 - 技と美」受講生)
濱田 泰以
(京都工芸繊維大学 教授/伝統みらい研究センター長)
山本 建太郎
(京都工芸繊維大学 造形工学部門 教授)
澤田 美恵子
(京都工芸繊維大学 助教授/本プログラム担当)
司 会 浦川 宏 教授(物質工学部門)

1月27日、本学大学センターホールにおいて、現代GPフォーラム「京都から世界へ」が開催されました。

これは、平成18年度現代的教育ニーズ取組支援プログラムの「実践的総合キャリア教育の推進」に採択された同大学の取組「創造性豊かな国際的工科系専門技術者の育成 - 伝統からイノベーションへ ローカルからグローバルへ - 」の概略や教育内容などを紹介し、本事業を外部に広く広報するとともに、学内のキャリア教育の一層の拡大を意図し開催したものです。



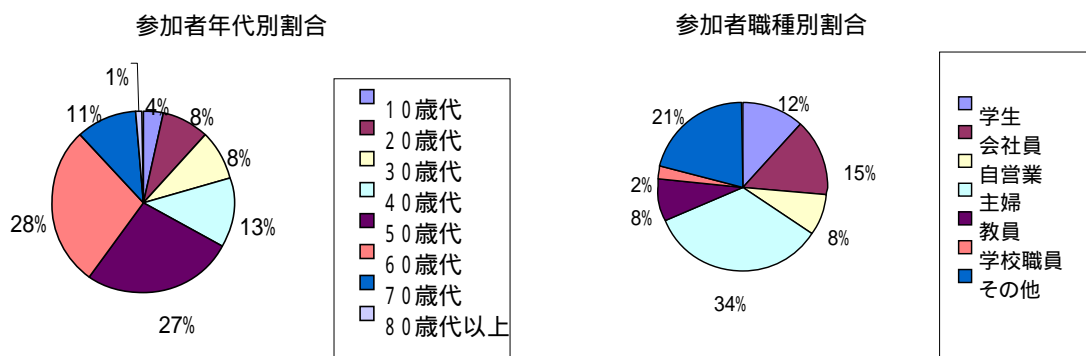
千玄室氏による基調講演

裏千家前家元の千玄室氏が「お茶の心と豊かさ」と題して基調講演を行い、後半のパネルディスカッションでは東北大 内丸幸喜教授、株式会社大安代表取締役大角正幸氏を招き、本学からは濱田泰以教授(本学伝統みらい研究センター長)山本建太郎教授(本学造形工学部門)、澤田美恵子助教授(本プログラム担当教員)が参加し、行政、京都の産業界、教育研究、芸術とそれぞれ異なった視点から本事業について議論し内容を掘り下げ、現在得られている成果と今後期待できる効果などについて、意見交換が行われました。



パネルディスカッション

約500名（参加者内訳はグラフ参照）が参加し千玄室氏の基調講演に引き続き、パネルディスカッションにも参加者の7割に近い人数が残り、熱心に本学の教育と地元京都及び伝統産業と科学技術の関わりについて、興味深げに耳を傾けました。



【アンケートに寄せられたコメント】

日本（京都）の伝津と技術を現代に活かしたデザイン、ライフスタイルの提案が望まれます。

大学の取組の取組を知ることができて良かった。今後の成果を期待します。

伝統工芸の技と心について考えさせられる機会を与えられたことは喜ばしいことでした。

孫の進学に大変参考になりました。

私たちの学生時代には無かったことが、実社会とのつながりとして具体的によく分かった。

体験が感性を育むという点で、体験すること、体験を共有する受講生がいるというのは今後大変意義のあることだと思いました。

非常にいい事だと思う。体験（実学）的なプログラムは必要です。

京都の地域性からみて、よいテーマだと思う。

工房でせめて1ヶ月お世話になるべきです。

学生だけでなく社会人、家庭人にも門戸が開かれれば底辺が広がっていき、いい試みかと思われます。

もっと多くの学生が受講できる方がよいと思う。

パネルディスカッションは、外国人教師の意見も併せ聞きたかった。

暗黙知 形式知にする事に意味、その結果、また高品質を問う技や知識度を身につけていく必要のなることを学んだ。技を学び、ものを作り出すことの意味を考えさせられた。 等々

【今後の補助事業への反映について】

地域市民の方々から数多く参加いただき、本学で行われている京の伝統工芸を活用した大学キャリア教育をパネルディスカッションから感じ取っていただけたことは、次年度以降の事業実施に自信を深めることができました。また、多くの賛同のご意見とともに、今後の参考になりうるご意見を頂戴できたことは非常に有意義でした。

今年度は、学生からの参加の割合が低かったため、次回開催時にはより多くの学生の参加を促すことを課題とし、本学のキャリア教育の一層の拡大を図ります。